平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名　シナジーマーケティング株式会社　　上場取引所　大
コード番号　3859　URL　http://www.synergy-marketing.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長兼CEO　(氏名) 谷井　等
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼CFO　(氏名) 田畑　正吾　TEL 06-4797-2300

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	2,493	7.0	173	△45.4	189	△38.2	81	△48.8
23年12月期第3四半期	2,331	11.8	317	0.5	306	△5.2	159	8.2

(注)包括利益　24年12月期第3四半期　98百万円　(32.2%)　23年12月期第3四半期　74百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	9.03	8.95
23年12月期第3四半期	18.33	17.91

(注)平成23年12月期第3四半期の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、平成23年7月1日に効力が発生した株式分割(普通株式1株につき2株の割合)が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の期中平均株式数により算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	3,583	3,392	93.5
23年12月期	3,672	3,333	89.7

(参考) 自己資本　24年12月期第3四半期　3,349百万円　23年12月期　3,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0.00	―	4.50	4.50
24年12月期	―	0.00	―		
24年12月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年 1月 1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,400	5.5	242	△48.2	264	△42.5	117	△49.6	13.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)
(注)当事業年度における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	9,053,600 株	23年12月期	9,048,800 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	― 株	23年12月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	9,051,527 株	23年12月期3Q	8,708,982 株

当社は、平成23年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成23年12月期第3四半期の期中平均株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）セグメント情報等 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（６）重要な後発事象 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成24年１月１日から平成24年９月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済の停滞には一定の目処がついたものの、電力供給不安や消費税率の引き上げ、ギリシャをはじめとするヨーロッパの金融不安等、経済の先行きは不透明な状況となっています。

一方、当社が属するインターネット市場では、インターネットの人口普及率は79.1%と順調な伸びをみせ、その中でもインターネット利用目的として「商品・サービスの購入・取引」が60.1%を占めるなど、インターネットを用いた商業活動も堅調に伸びております。（「平成23年通信利用動向調査」総務省）また、スマートフォンやiPadに代表されるタブレット型コンピューターが次々に発表されるなど、モバイルコンピューティングが一層の高まりを見せています。さらに、国家や企業に対するサイバーテロや情報漏えい事件が発生する中、システムのセキュリティへの関心も高まりました。

そのような状況の中で、インターネット経由でアプリケーションやプラットフォームを提供するクラウドコンピューティングは、データのセキュアな管理運用を求める企業や、システム関連コストの削減を目指す企業だけではなく、東日本大震災後の事業継続計画の見直しや節電への効果的な対策としても高い注目を集めています。

このようなクラウドコンピューティングに対する需要の拡大は、当社にとって大きなビジネスチャンスととらえ、当第３四半期連結累計期間は、クラウドサービスの技術研究と開発の強化に注力してまいりました。

当連結会計年度より当社内で研究開発を専門に行うチームを立ち上げ、クラウド技術の研究を行い、研究発表を重ねて参りました。また、８月には次期主力サービスとなるSynergy!360に大幅な機能増加を行い、facebookやtwitter連携を可能とするなど、あらゆる企業のキャンペーンを幅広くバックアップできるシステムに成長させました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は2,493,088千円（前年同期比7.0%増）となりました。営業利益は、研究開発費の増加等により、173,343千円（前年同期比45.4%減）となり、経常利益は、189,322千円（前年同期比38.2%減）、また、減損損失20,000千円を特別損失に計上したこと等により、四半期純利益は81,778千円（前年同期比48.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

① クラウドサービス事業

クラウドサービス事業は、2,000を超えるアカウントを有する「Synergy!」に加え、昨年から「Synergy!LEAD」「Synergy!360」「iNSIGHTBOX」という新しいサービスがラインナップに加わり、総アカウント数は更に増加しました。当第３四半期連結累計期間では、「Synergy!360」を大幅ヴァージョンアップさせ、導入企業の効果的かつ効率的なマーケティング活動の支援を可能にしました。以上の結果、売上高は1,024,234千円（前年同四半期累計期間902,019千円、前年同期比13.5%増）、セグメント利益は134,240千円（前年同四半期累計期間220,372千円、前年同期比39.1%減）となりました。

② エージェント事業

エージェント事業は、当社クラウドサービスを利用している既存顧客に対して、システム開発やメール配信代行、広告代理等の受託業務の提案を行っており、売上高は729,836千円（前年同四半期累計期間668,091千円、前年同期比9.2%増）、セグメント利益は35,065千円（前年同四半期累計期間63,720千円、前年同期比45.0%減）となりました。

③ ｅホールセール事業

ｅホールセール事業は、連結子会社である株式会社ビーネットがECショップ向けに商品の卸売りを行う事業であり、売上高は739,017千円（前年同四半期累計期間760,910千円、前年同期比2.9%減）、セグメント損失は3,664千円（前年同四半期累計期間25,507千円のセグメント利益）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて31,822千円増加し、2,071,426千円となりました。これは、現金及び預金が462,052千円減少したものの、有価証券が440,323千円、受取手形及び売掛金が23,965千円、仕掛品が14,899千円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて121,439千円減少し、1,511,604千円となりました。これは、投資有価証券が売却などにより143,811千円、のれんが償却により42,714千円減少、ソフトウエアが68,041千円増加したことなどが要因であります。

この結果、総資産は、3,583,030千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて148,622千円減少し、190,798千円となりました。これは、未払法人税等が支払により104,037千円、１年内返済予定の長期借入金が返済により28,000千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、190,798千円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて59,005千円増加し、3,392,231千円となりました。これは、配当金を40,719千円支払ったものの、四半期純利益を81,778千円計上し、その他有価証券評価差額金が13,415千円増加したことなどによります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期第４四半期につきまして、持続的な成長を目的とし、新システムへの営業および開発リソースを集中投下することとしました。その結果、一時的に営業効率が低下することおよび開発費用が増加することが予想されます。

以上を踏まえ、平成24年８月10日に公表いたしました業績予想を修正しております。

なお、具体的内容につきましては、本日（平成24年11月９日）公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	991,514	529,462
受取手形及び売掛金	357,629	381,595
有価証券	600,096	1,040,419
商品及び製品	29,119	28,246
仕掛品	12,583	27,482
その他	51,517	71,205
貸倒引当金	△2,857	△6,986
流動資産合計	2,039,603	2,071,426
固定資産		
有形固定資産	119,607	111,840
無形固定資産		
のれん	144,905	102,190
ソフトウエア	356,993	425,035
その他	3,484	15,716
無形固定資産合計	505,383	542,942
投資その他の資産		
投資有価証券	875,618	731,807
その他	134,686	133,962
貸倒引当金	△2,252	△8,948
投資その他の資産合計	1,008,052	856,821
固定資産合計	1,633,043	1,511,604
資産合計	3,672,647	3,583,030
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	79,756	77,823
1年内返済予定の長期借入金	28,000	－
未払法人税等	104,037	－
賞与引当金	－	5,853
その他	127,627	107,121
流動負債合計	339,421	190,798
負債合計	339,421	190,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,155,617	1,156,632
資本剰余金	1,114,793	1,115,808
利益剰余金	1,064,977	1,106,036
株主資本合計	3,335,388	3,378,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△42,575	△29,160
その他の包括利益累計額合計	△42,575	△29,160
少数株主持分	40,413	42,915
純資産合計	3,333,225	3,392,231
負債純資産合計	3,672,647	3,583,030

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	2,331,021	2,493,088
売上原価	1,098,980	1,277,960
売上総利益	1,232,041	1,215,128
販売費及び一般管理費	914,305	1,041,784
営業利益	317,735	173,343
営業外収益		
受取利息	3,250	3,386
受取配当金	6,639	8,995
その他	315	3,822
営業外収益合計	10,205	16,203
営業外費用		
支払利息	654	224
株式交付費	12,236	－
為替差損	8,880	－
その他	33	－
営業外費用合計	21,804	224
経常利益	306,136	189,322
特別利益		
投資有価証券売却益	－	6,092
特別利益合計	－	6,092
特別損失		
固定資産除却損	163	414
減損損失	－	20,000
特別損失合計	163	20,414
税金等調整前四半期純利益	305,972	175,000
法人税、住民税及び事業税	128,260	91,535
法人税等調整額	12,428	△1,503
法人税等合計	140,688	90,031
少数株主損益調整前四半期純利益	165,283	84,968
少数株主利益	5,605	3,190
四半期純利益	159,678	81,778

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	165,283	84,968
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90,886	13,415
その他の包括利益合計	△90,886	13,415
四半期包括利益	74,397	98,383
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	68,792	95,193
少数株主に係る四半期包括利益	5,605	3,190

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成23年１月１日　至　平成23年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	クラウドサービス事業	エージェント事業	eホールセール事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	902,019	668,091	760,910	2,331,021	－	2,331,021
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	12,297	21	12,318	△12,318	－
計	902,019	680,388	760,931	2,343,340	△12,318	2,331,021
セグメント利益又は損失(△)	220,372	63,720	25,507	309,601	8,134	317,735

(注)１　セグメント利益又は損失（△）の調整額8,134千円は、セグメント間取引の消去によるものです。

２　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	クラウドサービス事業	エージェント事業	eホールセール事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,024,234	729,836	739,017	2,493,088	－	2,493,088
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	5,220	－	5,220	△5,220	－
計	1,024,234	735,056	739,017	2,498,308	△5,220	2,493,088
セグメント利益又は損失（△）	134,240	35,065	△3,664	165,641	7,702	173,343

(注)１ セグメント利益又は損失（△）の調整額7,702千円は、セグメント間取引の消去によるものです。

２ セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「クラウドサービス事業」セグメントの一部ソフトウェアについて、当初想定していた収益が見込めなくなったため、当第３四半期連結累計期間において固定資産の減損損失20,000千円を計上しております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年９月30日)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

（６）重要な後発事象

当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日　至　平成24年９月30日）
（自己株式の取得） 当社は、平成24年11月９日開催の取締役会において、会社法第165条第３項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。 １．自己株式の取得を行う理由 機動的な資本政策の遂行を可能とするため。 ２．取得の内容 （１）取得対象株式の種類 当社普通株式 （２）取得しうる株式の総数 250,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合2.8％） （３）株式の取得価格の総額 100百万円（上限） （４）取得期間 平成24年11月12日～平成25年１月31日